

神戸市会議員  
(垂水区)

# 川内きよなお

市会報告

ご相談はお気軽に

川内きよなお事務所  
神戸市垂水区大町1-2-10  
TEL : 080-6175-4877  
E-mail : bucfq906@hi-net.zaq.ne.jp

編集・発行 こうべ未来市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5844 FAX : 078-322-6161

## 令和6年第1回定例会市会（2月議会）開会中（2/15～3/26）

元旦に発生した能登半島地震で甚大な被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。神戸市も2025年1月には阪神淡路大震災から30年の節目を迎えます。壊滅的になった神戸の街を市民が心をつなげて復興を成し遂げました。この経験とノウハウを被災地に発信しながら、復興に向けて貢献しなければならないと考えています。

さて、神戸市会では、令和6年度の予算（案）を審議する2月議会が開会されています。長引く物価高騰や気候変動による自然災害の増加、全国的な少子高齢化に伴う人口の自然減の加速など、問題課題は山積していますが、神戸をさらに高みに押し上げていくために、日頃皆様からいただいているご意見ご要望を本会議や委員会においてしっかり意見反映して参ります。

## 久元市長に予算要望



昨年の12月25日、**こうべ未来市会議員団**から久元市長に令和6年度神戸市当初予算に対する要望を行いました。人口減少と高齢化が進む中、新しい社会モデルとなる神戸のまちを構築する必要があり、今こそ新たな投資をするべき時期であると考えます。神戸の未来のために、そして市民のより豊かな暮らしを実現するために、「未来への人づくり」「未来へのまちづくり」の視点で、市の財源を活かした積極的な投資を求めるとともに、未来の宝物である子どもたちが主役のまちをつくること、また、障がいや高齢によるハンディキャップがあっても、誰もが自分らしく生きていけるような重層的な支援を構築することなど、人にやさしい施策の実現を求めました。

## 令和6年度予算の概要

■予算の規模 (単位：百万円, %)

会計別	令和6年度	令和5年度	増△減	
			金額	伸率
一般会計	905,694	879,398	26,296	3.0
特別会計	671,100	680,250	△9,150	△1.3
企業会計	350,195	328,418	21,777	6.6
合計	1,926,989	1,888,066	38,923	2.1

- ①一般会計
  - SDGsの視点に基づき「神戸2025ビジョン」に掲げる施策を取り組むことで、くらしの質と都市の価値を高めるとともに、果敢な成長戦略により、都市の成長を促す好循環を創出していくことで、未来を見据えた持続可能な大都市経営を実現していくための予算を編成した。
- ②特別会計
  - 超高齢社会の進展に伴い後期高齢者医療事業費が増加した一方で、市営住宅マネジメント計画の事業進捗に伴い市営住宅事業費が減少した。
- ③企業会計
  - 企業債償還の減等により下水道事業会計が減少した一方で、新産業団地の整備等により新都市整備事業会計が、空港整備事業費への貸付金の増により港湾事業会計が、それぞれ増加した。

### 予算(案)の一部を紹介します

#### 教育委員会

○不登校児童生徒への支援【5億4,600万円】  
全小中学校において、教室以外の居場所である「校内サポートルーム」を整備し、※支援員を配置（※週5日×4H）  
参考：令和4年3月時点（不登校児童生徒）… 小学校1,502人  
中学校2,602人

#### ○教員の多忙化対策

・スクールサポートスタッフの全校配置  
教員が教材研究等の本来業務に注力できるよう、学校現場において業務補助を行う**スクールサポートスタッフ**をすべての小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校に拡充配置する。  
※勤務時間は8時～11時  
令和5年度：160校→令和6年度：250校

- ・学校給食費の公会計化による事務の一元化・集約化  
(R6年度：小学校・特別支援学校等の給食費を公会計化)  
※中学校は全員喫食制への移行時に順次公会計化（R6～8年度）
- ・小学校35人学級編成の段階的实施  
〈小学校学級編成基準〉

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
令和5年度	35人	35人	35人	35人	40人	40人
令和6年度	35人	35人	35人	35人	35人	40人
令和7年度	35人	35人	35人	35人	35人	35人



こども家庭局

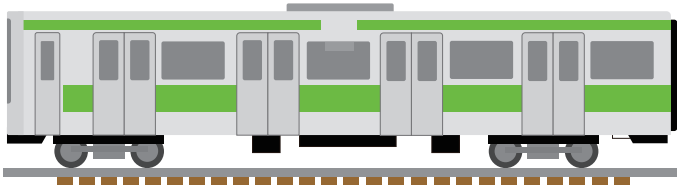
○高校生等通学定期券補助の拡充【12.3億円】

→令和6年度（9月2学期～） ※通年実施の場合【20億円】

子育て世帯の家計負担減と本市の多様な教育環境を維持していくため、神戸市在住の高校生等が市内高校等に通う場合の通学定期代を令和6年9月より無料化する。

通学先	～令和6年8月	令和6年9月～
市内	現行通り	全額補助
市外	現行通り	

※現行：年額14万4千円を超える通学定期代の2分の1を補助



○こべっこウェルカム定期便【2億1千万円】

子どもが生まれた世帯を対象に、新たに、月に1回おむつやミルク等の育児用品を配達し、配達に合わせて声掛けや支援情報の提供等を含めた見守りを行う。

※令和6年秋以降に、計10回配達（1回目は1万円相当、2～10回目は3,000円相当）

※令和6年4月以降に生まれた子どもが対象



文化スポーツ局・建設局

○神戸市内の公園に「バスケットゴール」を50カ所追加設置等

【1億9,000万円】

神戸市が神戸ストークスの本拠地移転に合わせて、バスケットボールの振興を図るため、バスケットゴールがある公園を倍増します。

整備計画

現在バスケットゴールがある公園50カ所  
整備目標（概ね3年）約50カ所  
（合計100カ所に倍増）



○神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会の開催【18億9,300万円】

・会場・競技運営、選手・大会関係者の受入れ、体験型授業・交流活動の推進の実施

・競技日程：R6.5.17(金)～25(土)

・競技会場：神戸総合運動公園ユニバー記念競技場



令和6年能登半島地震の被災支援

【1億500万円（うち5年度2月補正 9,500万円）】

・被災地への職員派遣等の実施（避難所支援、給水、健康支援、公共施設復旧等）

・被災者に向けた市営住宅の無償提供（50戸程度）



（仮称）三井アウトレットパークマリンピア神戸（今年秋頃・リニューアルオープン）



約2年前からリニューアルのため閉鎖していた（仮称）三井アウトレットパークマリンピア神戸が今年の秋頃にリニューアルオープンする予定です。多くの来場者が見込まれますが、特に車の渋滞等の問題が懸念されます。来店・帰宅経路を工夫しながらできるだけ渋滞が発生しないように努めているところです。

